

# ともに生きる

立正大学文学部では「ともに生きる」人間のあり方を研究してきました。文学部創設90周年を記念する本講演会では、二人の方にことなる立場から「ともに生きる」というテーマでご講演いただきます。



Copyright NORIO MATSUMOTO

氷河上で過ごす独りきりの冬。氷点下40℃をも忘れさせる本物の感動が、ここにはあります。(松本紀生)

## 第1部 写真家 松本紀生 「自然との共生 -オーロラの大地から-」



**松本紀生** (まつもと のりお) 写真家  
昭和47年、愛媛県生まれ。星野道夫氏の作品に触発され写真家を志す。冬はアラスカに渡り、自然の撮影に専念する。朝日新聞『ひと』欄やTBS『情熱大陸』でも紹介される。朝日新聞『ひと』欄やTBS『情熱大陸』でも紹介される。現在、もっとも注目されている新進の自然写真家。「やりたいことに精一杯打ち込み、悔いのない人生を送りたい」というライフスタイルをつらぬく。最新作は『原野行』(クレヴィス)。さだまさしと寄席をこよなく愛する42歳。

## 第2部 本学名誉教授 沼 義昭 「学との共生 -立正大学とともに生きる-」



**沼 義昭** (ぬま ぎしやう) 立正大学名誉教授  
昭和3年、旧東京市王子区(現・北区)に生まれる。昭和25年、立正大学文学部哲学科卒業。立正大学文学部社会科学科助手、身延山短期大学専任講師、立正大学教養部教授を経て、昭和49年、立正大学文学部社会科学科教授に就任。平成10年に立正大学を退職した後、平成10年、立正大学名誉教授となる。代表作に『観音信仰研究』(佼成出版、平成2年)がある。宗教社会学者。86歳。

と き: 2014年10月25日(土)  
13:00~16:30 (12:00開場)  
会 場: 立正大学品川キャンパス 石橋湛山記念講堂  
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 (大崎駅・五反田駅より徒歩5分)

### 立正大学文学部創設90周年記念講演会 申込方法

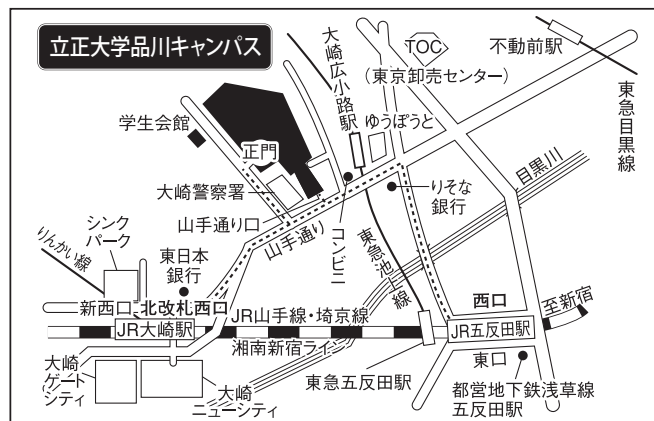
定員 300名 受講料 無料 募集期間 8月21日(木)~9月19日(金)

講演会場 立正大学品川キャンパス 石橋湛山記念講堂

応募方法 往復はがきに、①講演会名「ともに生きる」②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤連絡先電話番号を明記し、下記申込先へお送りください。

申込先 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 立正大学文学部事務局  
文学部創設90周年記念講演会 係  
※ご提供いただきます個人情報は本企画のみに使用いたします。

往信用(おもて)	返信用(うら)	返信用(おもて)	往信用(うら)
141-8602		郵便番号	
立正大学 文学部創設90周年記念講演会係	東京品川区 大崎4-2-16	申し込み方の住所	申し込み方の住所
	※返信ハガキの裏面は 何も記入しないでください。	申し込み方の氏名	①講演会名 「ともに生きる」 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤連絡先電話番号



本学教職員、学生の参加は事前の申し込みは必要ありません。ふるってご参加ください。

「モラリスト×エキスパート」を育む。